

平成 21 年（2009 年）3 月 18 日
交通対策・中野駅周辺まちづくり特別委員会資料
拠点まちづくり推進室拠点まちづくり担当

中野駅地区交通結節点あり方検討会における検討経過等について

中野駅地区整備構想の策定に向けて、学識経験者及び関係機関等で組織する「中野駅地区交通結節点あり方検討会（以下「検討会」という。）」を下記のとおり実施したので、その経過等を報告する。

1 実施状況について

① 第1回 2008年12月 2日（木）

（議題）

- ・整備検討の流れ及び過年度検討状況の整理、確認
- ・地元説明会等の状況
- ・中野駅地区と中野駅周辺各エリアのまちづくりイメージについて

② 第2回 2009年 2月 4日（水）

（議題）

- ・中野駅地区整備の考え方検討
- ・交通施設概略基本計画（案）の検討

2 検討概要について

別添資料のとおり

3 今後の予定

- ① 3月27日 ・第3回検討会 検討結果のまとめ、区へ提案
- ② 4月 ・検討結果を参考に、区としての整備構想（素案）作成
 - ・区整備構想（素案）区議会報告
- ③ 5月 ・区整備構想（素案）区民説明会の実施
 - ・区整備構想（案）取りまとめ
- ④ 6月 ・中野区整備構想（案）区議会報告
 - ・中野区整備構想（案）区民説明会の実施
- ⑤ 8月 ・中野区整備構想決定
 - ・中野区整備構想区議会報告

交通結節点あり方検討会 検討概要

①中野駅地区整備 基本コンセプト

(1) 交通結節点としての中野駅地区の課題

- ① 地形等
高低差のある地形と鉄道高架によって市街地の南北・東西が分断されている。
- ② 周辺土地利用
駅および駅前広場が駅周辺の商業エリアの賑わいの連続性を阻害している。
- ③ 景観・オープンスペース
周辺開発と一体的な景観の形成やオープンスペースの確保が必要である。
- ④ 駅前広場機能
既存の南北の駅前広場は面積が不足しており、必要な機能が収容できていない。
- ⑤ 駅施設
駅施設のバリアフリー対策などが不十分である。
- ⑥ 歩行者交通
中野通りや周辺道路の歩行者空間・歩行者動線の拡充が必要である。
- ⑦ 道路交通
中野通りから駅前広場へ出入する自動車交通によって、中野通りの交通容量が低下している。
- ⑧ バリアフリー
駅周辺で歩道幅員の不足箇所や急傾斜な箇所が多くバリアフリー化が十分図られていない。

(2) 整備の基本的考え方

駅とまちとが融合する魅力的な賑わい拠点をつくる

- ・わかりやすく利用しやすい交通結節機能の改善
- ・回遊性の向上と、交流のための賑わいの拠点
- ・区役所・サンプラザ地区との一体的な計画による整備
- ・中野の顔として、玄関口にふさわしい景観の形成

- ① 交通結節機能の改善
交通施設を集約し、わかりやすさと乗り換えの利便性を向上させる
- ② 回遊性の向上
周辺と一体となった立体的な歩行者ネットワークを形成する
- ③ 賑わいの創出
駅前広場と商業施設との連携や歩行者広場の確保により賑わいを創出する
- ④ 玄関口にふさわしい景観の形成
中野区の玄関口としてみどりやうるおいが感じられる場をつくる

② 中野駅地区整備の基本的な考え方（案）

（1）歩行者動線の考え方

＜中野駅周辺歩行者動線のあるべき姿 ー 将来構想＞

■新たな東西、南北動線の整備、既存歩行者動線の機能強化

- ・市街地の南北・東西の分断を解消し、回遊性の向上を図り、東西・南北動線の整備、既存歩行者動線の機能強化。
- ・重層的な駅周辺歩行者動線の形成。

＜先行的に整備を進める歩行者動線の考え方＞

■新たな南北通路の整備

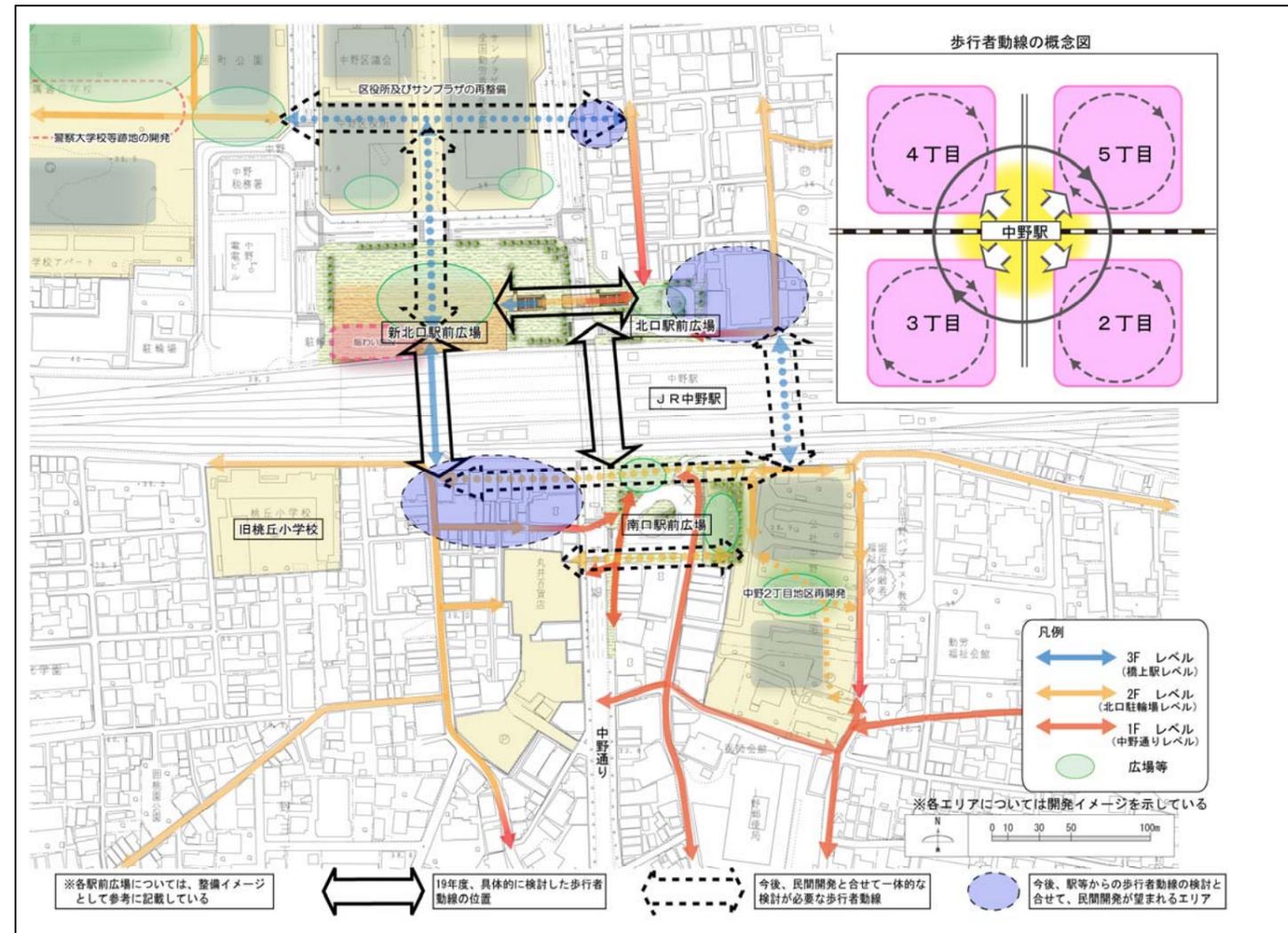
- ・鉄道を横断する新たな南北通路は、駅施設の機能強化と整合を図り、中野通り西側の橋上レベルにおいて確保。

■北口駅前広場と新北口駅前広場を接続する東西連絡路の整備

- ・新北口駅前広場と北口駅前広場をデッキレベルで接続し、一体的な利用を促進。

■中野通り東側における回遊性の向上

- ・現北口改札付近歩行空間を改善し、歩きやすい空間づくりを進めると共に、十分な滞留空間を確保



歩行者動線概念図

② 中野駅地区整備の基本的な考え方（案）

（2）改札口配置及び新たな南北通路の考え方

- ・ 中野通り西側の橋上レベルに新たな南北通路および改札口を配置する。
- ・ 既存の高架下乗り換え通路はそのままに、現北口改札前歩行空間の混雑を解消するために、現北口駅前広場に面するような北口改札を検討する。（駅施設の一部が現北口駅前広場用地にかかることが課題）
- ・ 中野通り東側の歩道については現在のバスバースを移設し、幅員を拡幅することにより機能を強化する。



改札口配置及び新たな南北通路の考え方

- 駅（ラチ内通路）
- 南北通路
- デッキ
- 動線（1Fレベル）
- 動線（2Fレベル）
- 動線（3Fレベル）

（3）駅前広場機能の考え方

- ① 周辺開発等にもなう将来の交通需要に対応した施設整備
- ② 新北口駅前広場と北口駅前広場の一体的整備による北口側駅前広場機能の改善
 - 新北口駅前広場への交通施設の集約及び重層活用
 - 北口駅前広場の歩行者主体の駅前広場整備への改善
- ③ 南口側駅前広場機能の改善
 - 南口駅前広場は中野二丁目市街地再開発などと連携し、ゆとりある駅前広場空間として改善
 - 中野三丁目でのまちづくりの誘導により、歩行者系駅前広場機能の確保
- ④ 駅前広場間の連携
 - ・ 各駅前広場間の連絡性の強化により、相互の機能補完を図る。



駅前広場の配置の考え方

② 中野駅地区整備の基本的な考え方（案）

（４）緑地・オープンスペース整備の考え方

①緑の軸の形成

- ・中野通り、けやき通り、千光前通りと連続する緑の整備を行い、駅地区に豊かな緑を創出

②現在の北口広場（新北口駅前広場）のみどりの継承

- ・現在の北口広場（新北口広場用地）のみどりや機能のイメージを継承

③新北口駅前広場

- ・玄関口としての景観形成を図るとともに、サンプラザ・区役所地区との一体的計画・整備による賑わいの連続性を確保

④現北口・南口駅前広場

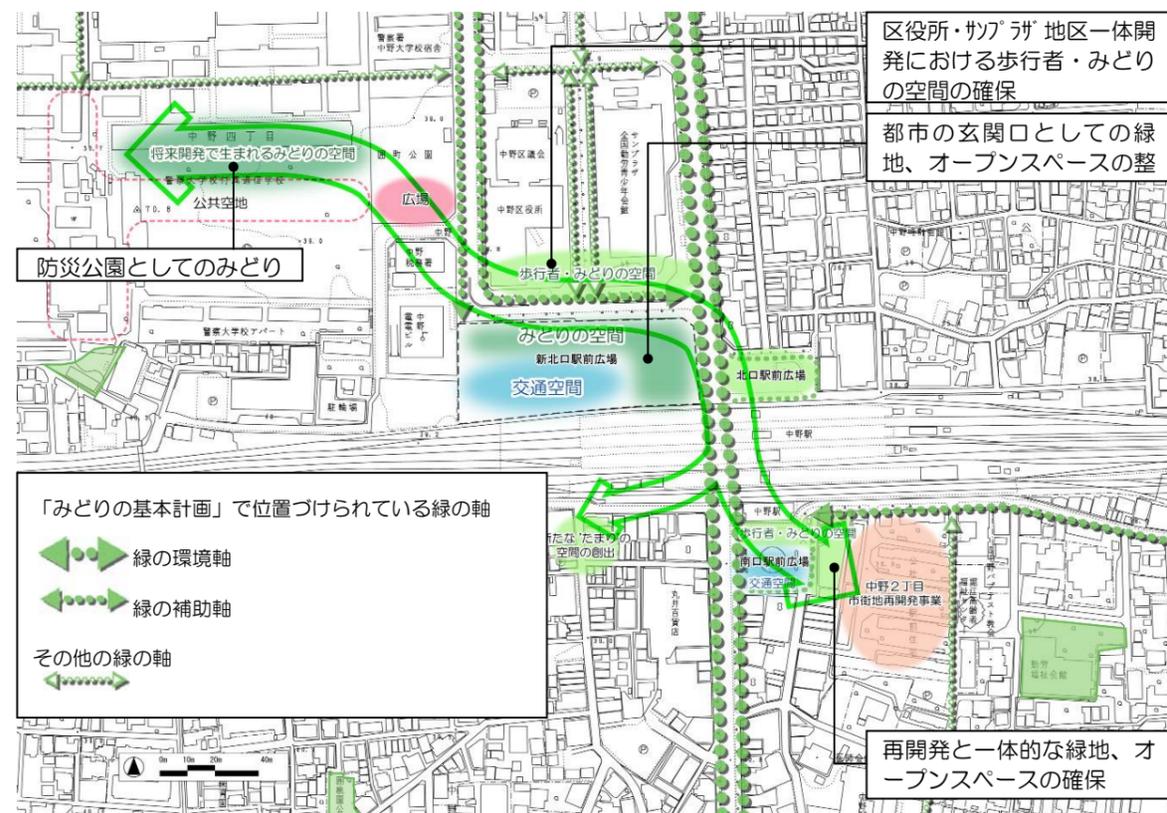
- ・オープンスペースを確保し、玄関口としての景観形成と商店街に顔を向けた賑わいの創出

（５）各駅前広場整備の考え方

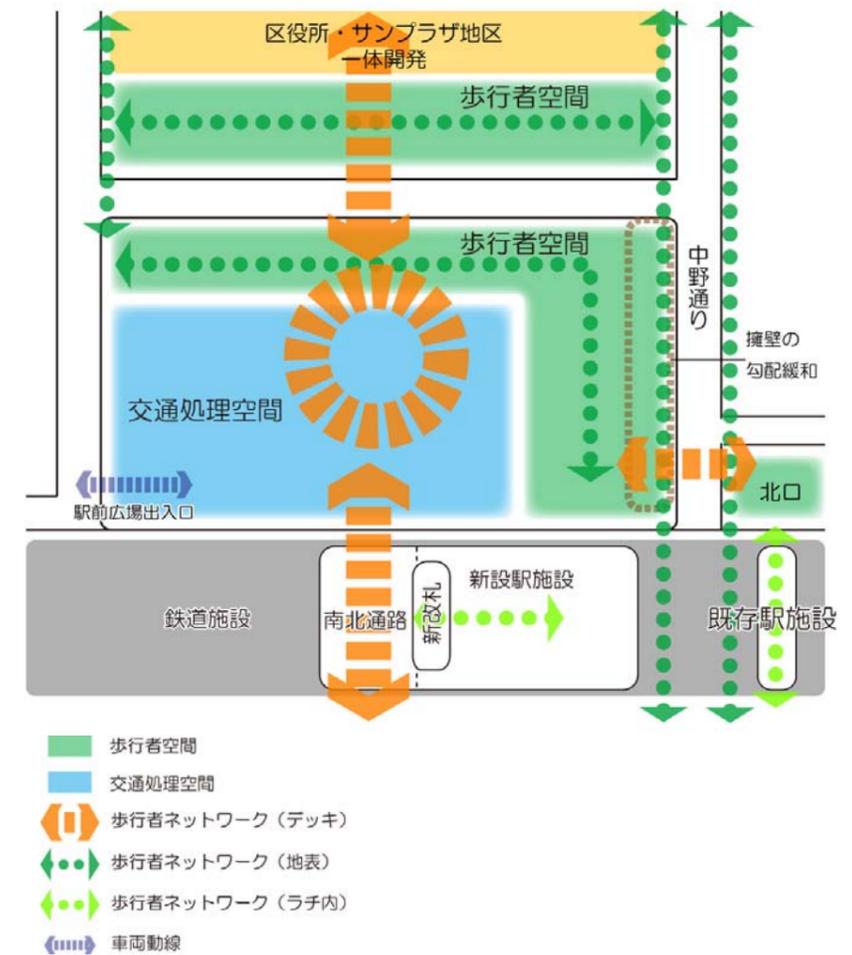
1) 新北口駅前広場

「新しい中野の顔となる都市型複合交通ターミナルの整備」

- 新改札口、南北通路と連携した一大交通結節点の整備
 - ・北側へサービスするバス、タクシー乗場を集約し、歩行者広場、駐車場などを重層的に整備
- 回遊性の向上に資する歩行者動線の整備
 - ・新北口駅前広場と現北口駅前広場をかさ上げ広場で結び、両広場の一体利用を促進
 - ・南北通路と区役所・サンプラザ地区をフラットにつなぐ歩行者動線を確保
- 周辺との連続性、一体感のあるオープンスペース、緑地の整備
 - ・北口駅前広場、区役所・サンプラザ地区に面したオープンスペース、連続性、一体感のある都市の玄関口としての憩いの空間を創出



緑地・オープンスペース整備概念図



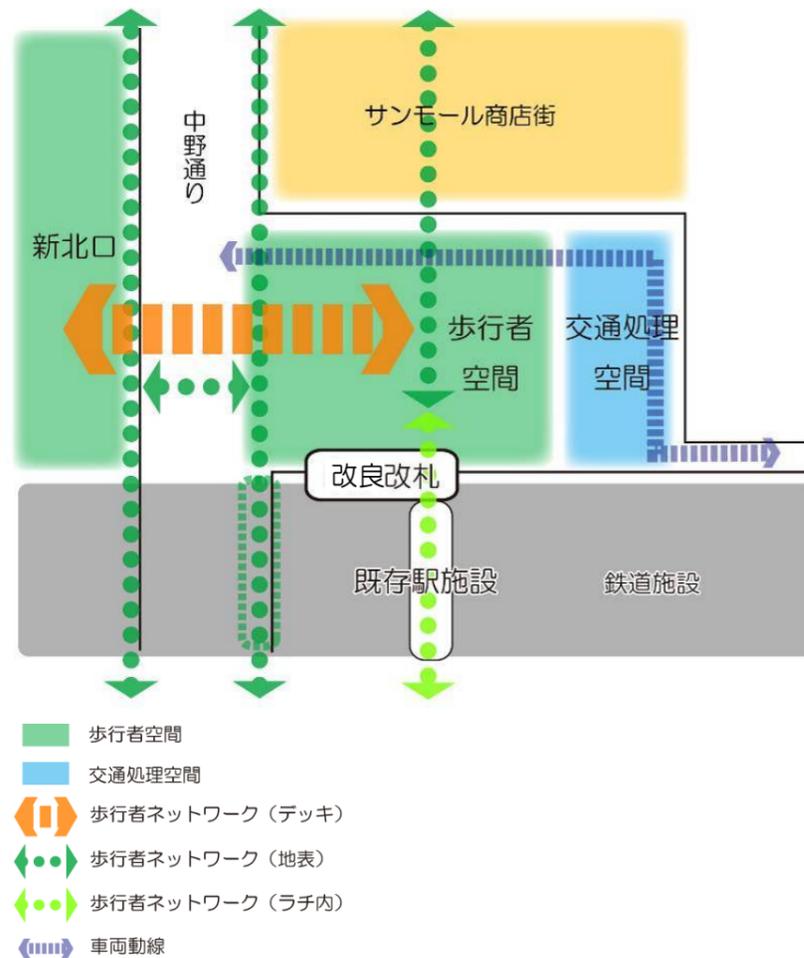
新北口駅前広場整備検討図

② 中野駅地区整備の基本的な考え方（案）

2) 北口駅前広場・東西連絡路

「地域の利便性確保と賑わい形成に資する歩行者中心の広場の創出」

- サンモールと駅をつなぐ歩行者中心のオープンスペースの整備
 - ・サンモールをつなぐ、交通施設は必要最小限とした歩行者中心の広場整備
- 新北口駅前広場と連携した一体的な歩行者空間の整備
 - ・東西連絡路を整備し、北口両駅前広場の一体的な歩行者空間を創出
- 駅コンコースとの段差解消
 - ・駅コンコースと駅前広場の段差を解消し、バリアフリー化を図る。
- 中野通り東側歩道の拡幅
 - ・中野通り東側歩道の拡幅によりゆとりのある歩行空間を確保
- 中野通り車両出入口の集約

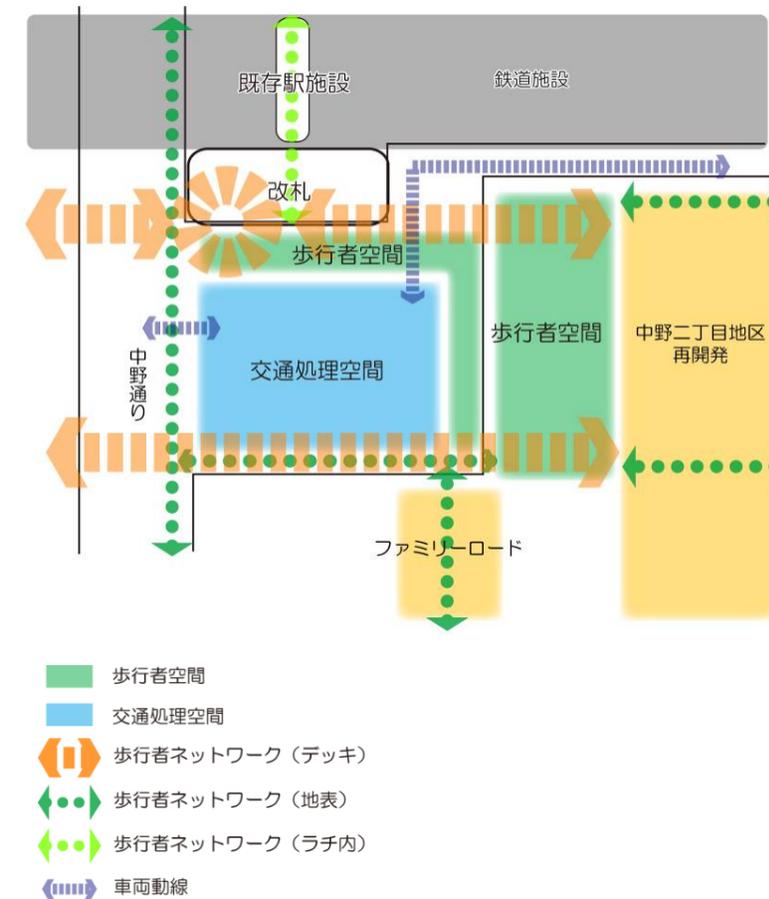


北口駅前広場整備検討図

3) 南口駅前広場

「民間開発との連携による歩行者空間の強化と南口の交通ターミナル機能の確保」

- 中野二丁目再開発と連携した歩行者空間の確保
 - ・中野二丁目再開発と連携し、駅前広場と一体的に開発地区内で歩行者空間を確保
- 南口側東西連携の拠点となる空間の確保
 - ・南口側東西歩行者ネットワークの拠点となる空間の確保
 - ・南口側東西歩行者ネットワークによって、歩車分離を図ると共に、地形による高低差の解消
- 駅コンコースとの段差解消
 - ・駅コンコースと駅前広場の段差を解消し、バリアフリー化を図る。
- 南方面への公共交通機能の集積



南口駅前広場整備検討図